

ドメイン名 Update

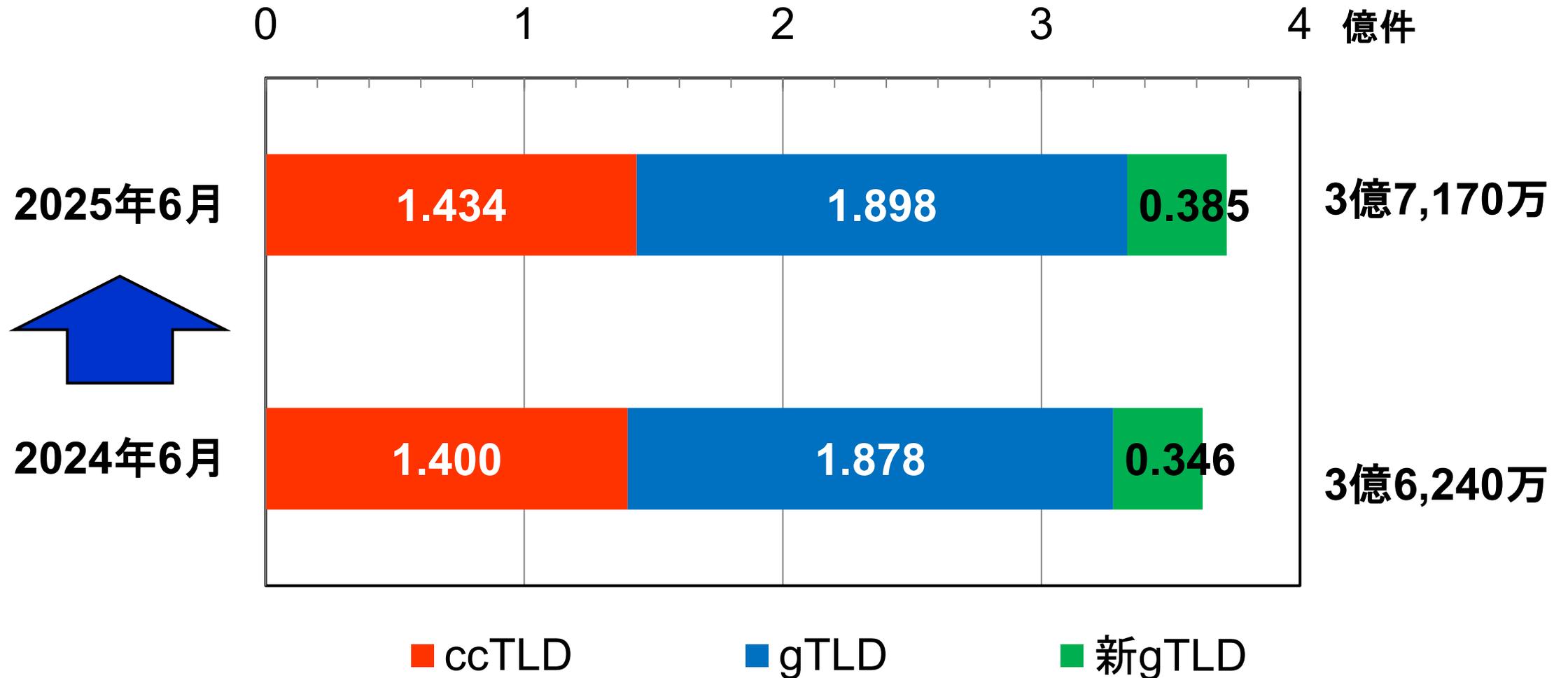
2025年11月26日(水)

Internet Week 2025 DNS DAY

高松百合(JPRS)

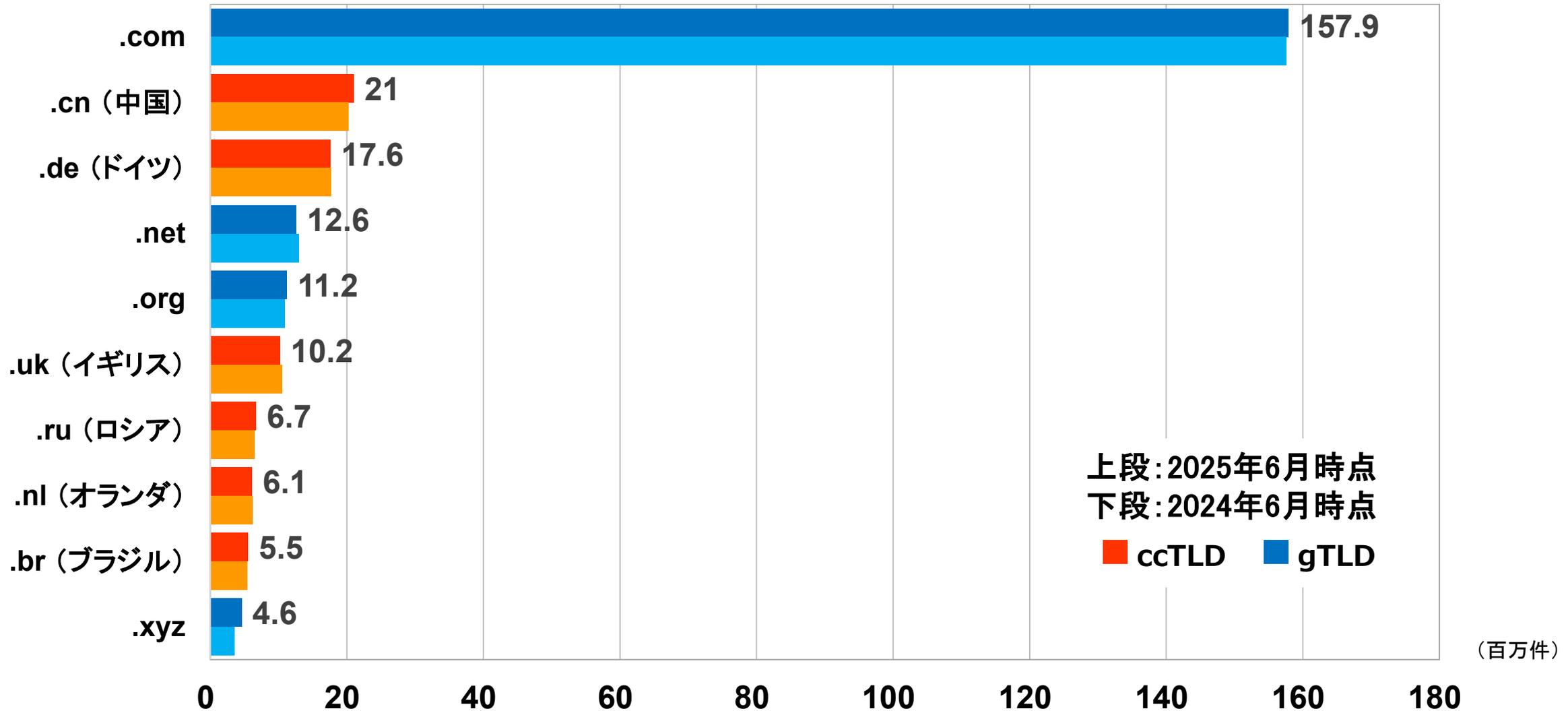
TLD全体の状況

全TLDでのドメイン名数



「Verisign Domain Name Industry Brief<https://www.verisign.com/en_US/domain-names/dnib/index.xhtml>」より

登録数の多いTLD



「Verisign Domain Name Industry Brief< https://www.verisign.com/en_US/domain-names/dnib/index.xhtml>」より

登録数の多いTLD

順位	TLD	件数(百万件)
1	.com	157.6
2	.cn(中国)	20.3
3	.de(ドイツ)	17.7
4	.net	13.0
5	.org	10.9
6	.uk(イギリス)	10.5
7	.ru(ロシア)	6.5
8	.nl(オランダ)	6.2
9	.br(ブラジル)	5.4
10	.au	4.2

2024年6月

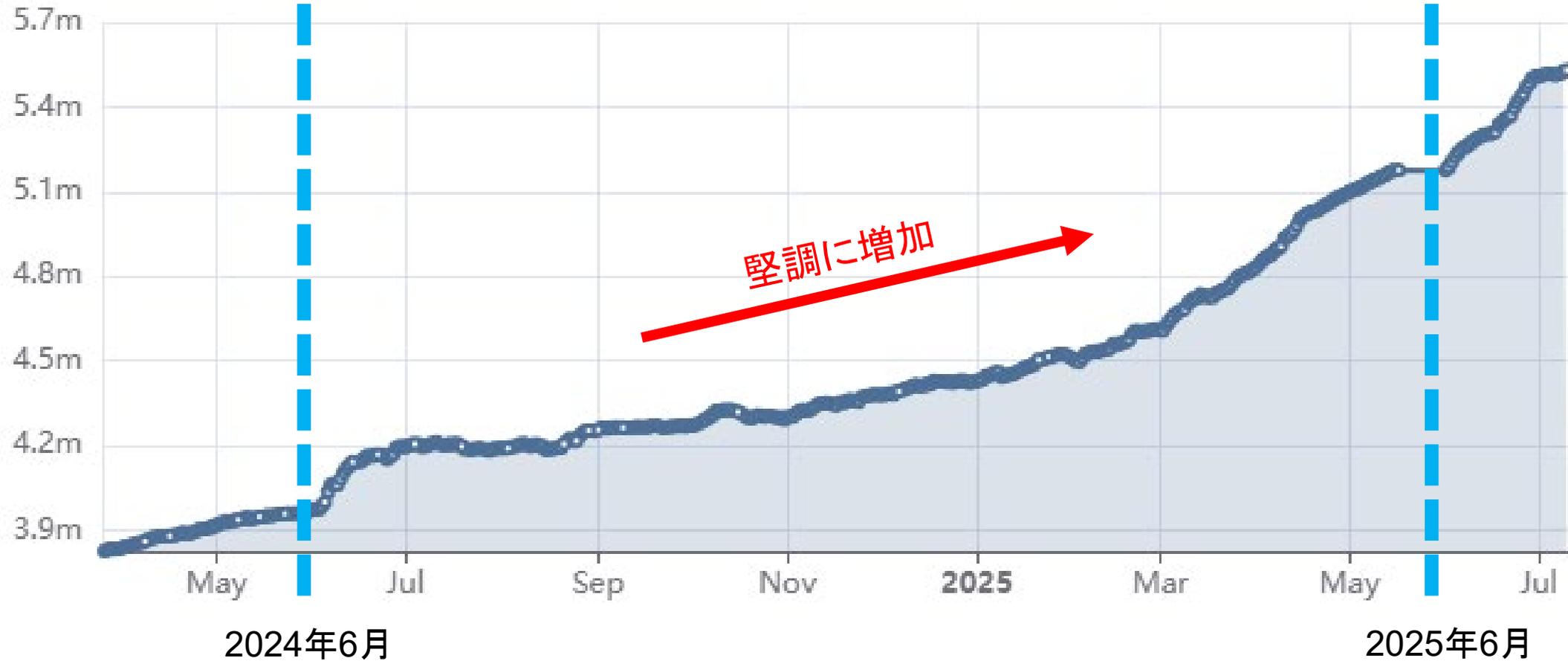


順位	TLD	件数(百万件)
1	.com	157.9
2	.cn(中国)	21.0
3	.de(ドイツ)	17.6
4	.net	12.6
5	.org	11.2
6	.uk(イギリス)	10.2
7	.ru(ロシア)	6.7
8	.nl(オランダ)	6.1
9	.br(ブラジル)	5.5
10	.xyz	4.6

2025年6月

「Verisign Domain Name Industry Brief< https://www.verisign.com/en_US/domain-names/dnib/index.xhtml >」より

.xyzの動き(1/2)



→ 2025年6月以降も大きな現象は観測されていない

参照 : <<https://ntldstats.com/tld/xyz>>

.xyzの動き(1/2)

2025年3月時点の状況

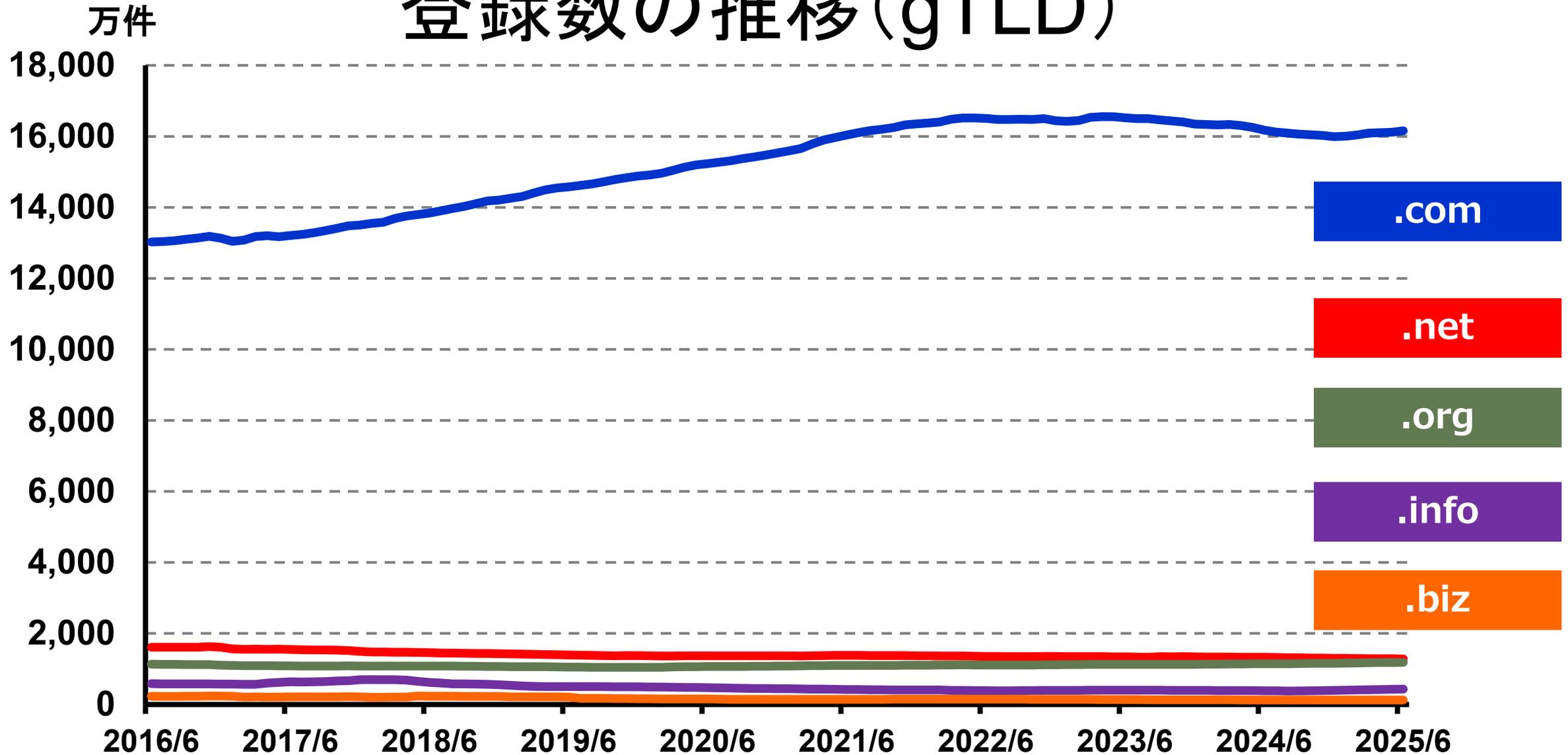
順位	レジストラ	件数
1	GMO/Onamae	827,035
2	Namecheap	801,694
3	GoDaddy	694,531
4	Dynadot	397,927
5	NameSilo	276,856
6	Alibaba	248,882
7	Spaceship	129,564
8	Gname	120,943
9	Hostinger	102,869
10	Name .com	102,548

- .xyzは、2025年6月で運用開始から11年
- 登録数増加の要因として、初年度の登録料が安価/無料であることが考えられる(レジストリ・レジストラ共に)
- 更新率は22.2%
 - 更新料の標準価格は15USD/年

参照 : <https://domainnamewire.com/2025/07/09/digging-into-the-numbers-behind-xyz-domain-registrations/>

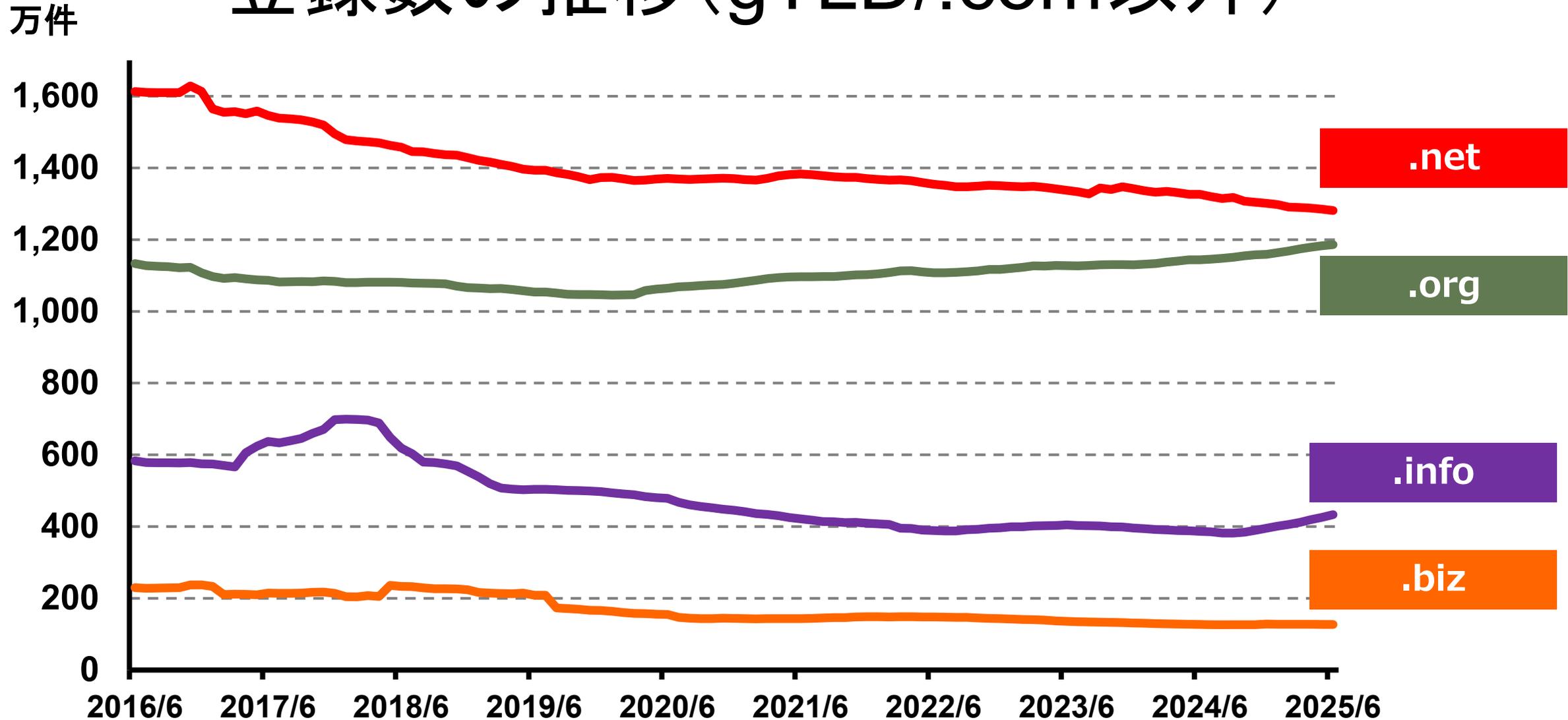
参照 : <<https://gen.xyz/pricing>>

登録数の推移 (gTLD)



(ICANN発表値に基づく)

登録数の推移 (gTLD/.com以外)



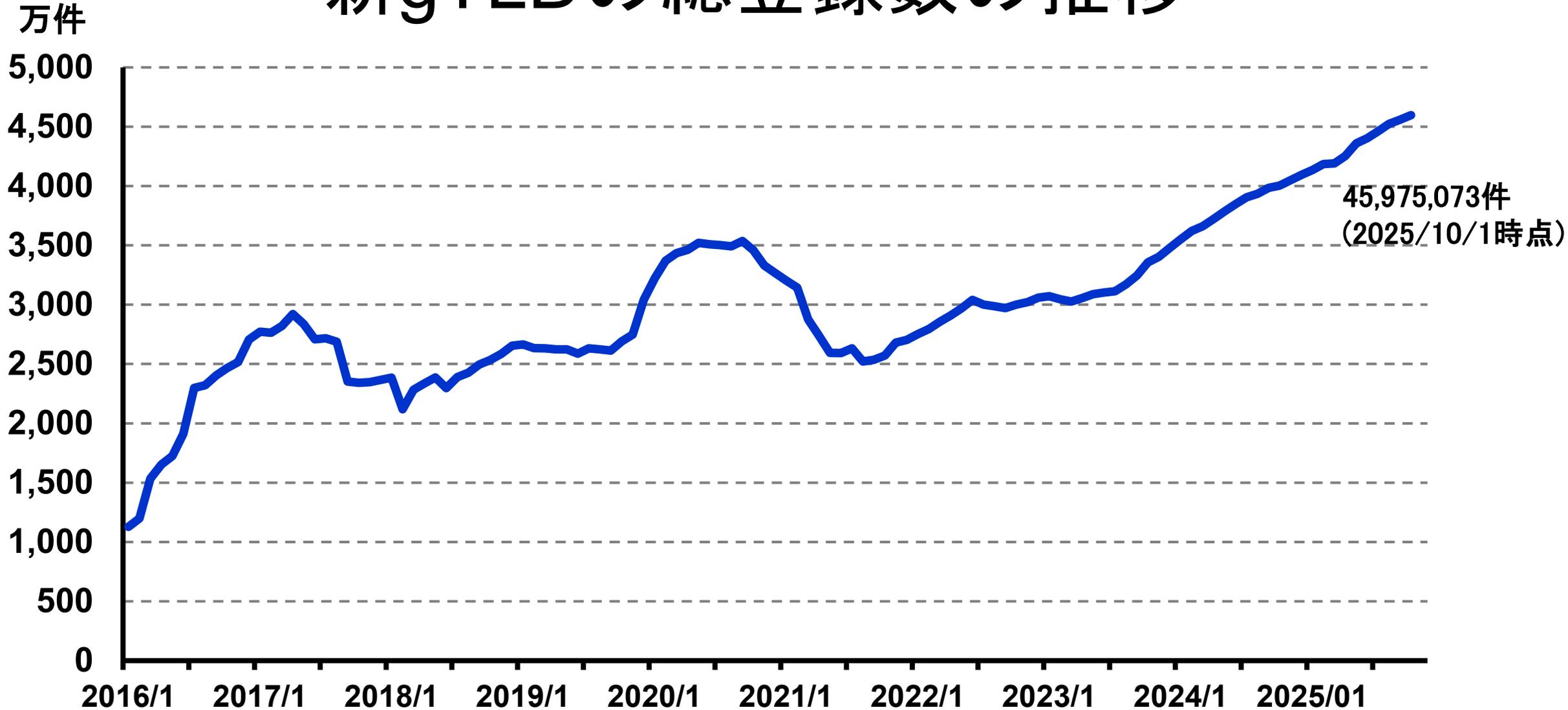
(ICANN発表値に基づく)

新gTLDの状況

新gTLDとは？

- ICANNはこれまでに、gTLDの追加を3回実施
 - 2000年（7件追加）
 - .aero、.biz、.coop、.info、.museum、.name、.pro
 - 2003年（8件追加）
 - .asia、.cat、.jobs、.mobi、.post、.tel、.travel、.xxx
 - 2012年（1200件以上追加）
 - .club、.pharmacy、.canon、.hitachi、.london、.tokyoなど
- 2012年以降の募集で追加されるものが「新gTLD」と呼ばれている
 - 現在、新gTLD次回募集に向けた活動がICANNで進行中

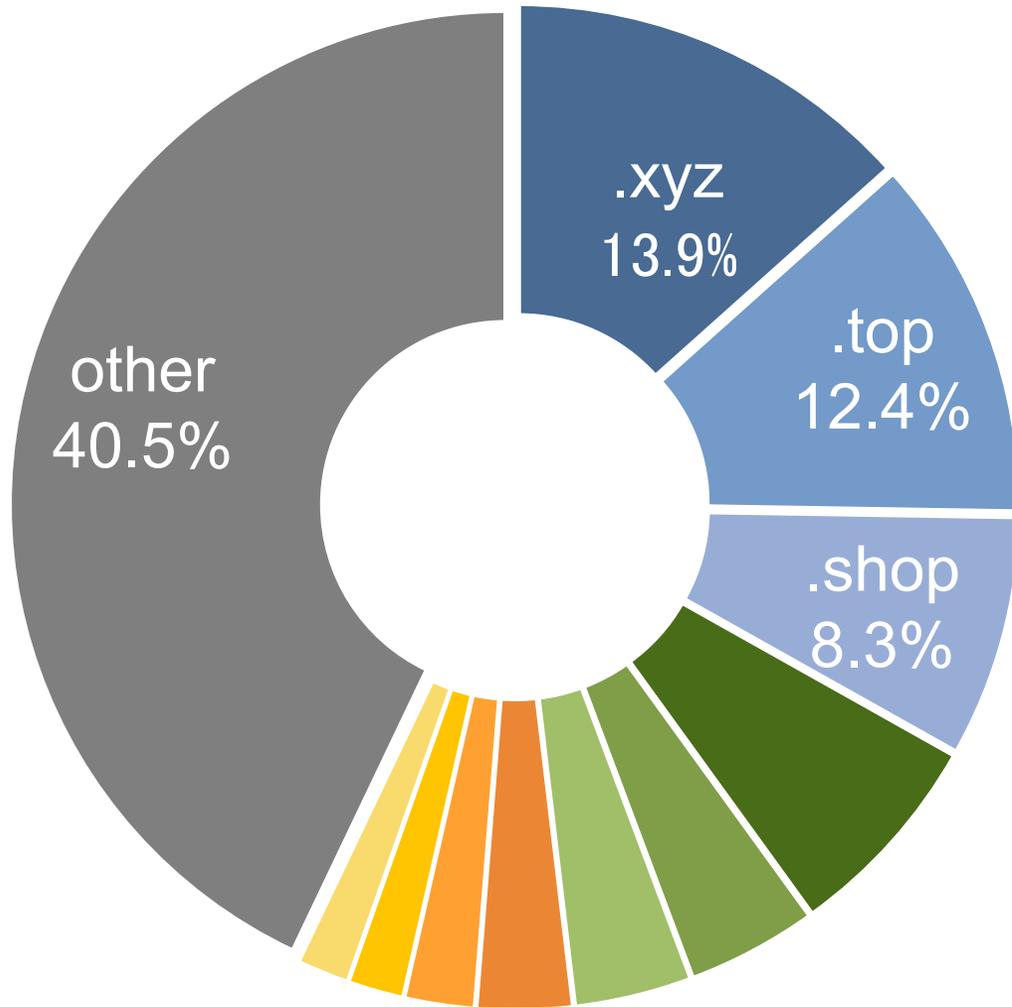
新gTLDの総登録数の推移



<<https://ntldstats.com/>> より

新gTLD登録数の内訳

(2025年11月22日時点)



	TLD	Domains	Share %	昨年の順位
● 1.	.xyz	8,383,405	13.9%	1位 →
● 2.	.top	7,458,704	12.4%	4位 ↑
● 3.	.shop	4,958,889	8.3%	2位 ↓
● 4.	.online	4,325,368	7.2%	3位 ↓
● 5.	.store	2,669,317	4.4%	6位 ↑
● 6.	.site	2,397,961	4.0%	5位 ↓
● 7.	.vip	1,955,321	3.3%	7位 →
● 8.	.sbs	1,434,091	2.4%	8位 →
● 9.	.app	1,139,922	1.9%	10位 ↑
● 10.	.click	1,062,885	1.8%	- ↑

<<https://ntldstats.com/>>より

gTLD追加までのステップ

- ・ 次回募集に向け以下6ステップで検討を進めている
 1. ICANN GNSO* におけるポリシーの策定
 2. ICANN理事会における意思決定(事務局に検討を指示)
 3. ICANN事務局における設計・実施に向けた検討
 4. ICANN理事会における結果の評価・採択の判断
 5. ICANN事務局におけるスケジュール・手順の作成・公開
 6. gTLDの次回募集の開始
- ・ 現在、ICANN事務局において**ステップ5**の作業が進行中

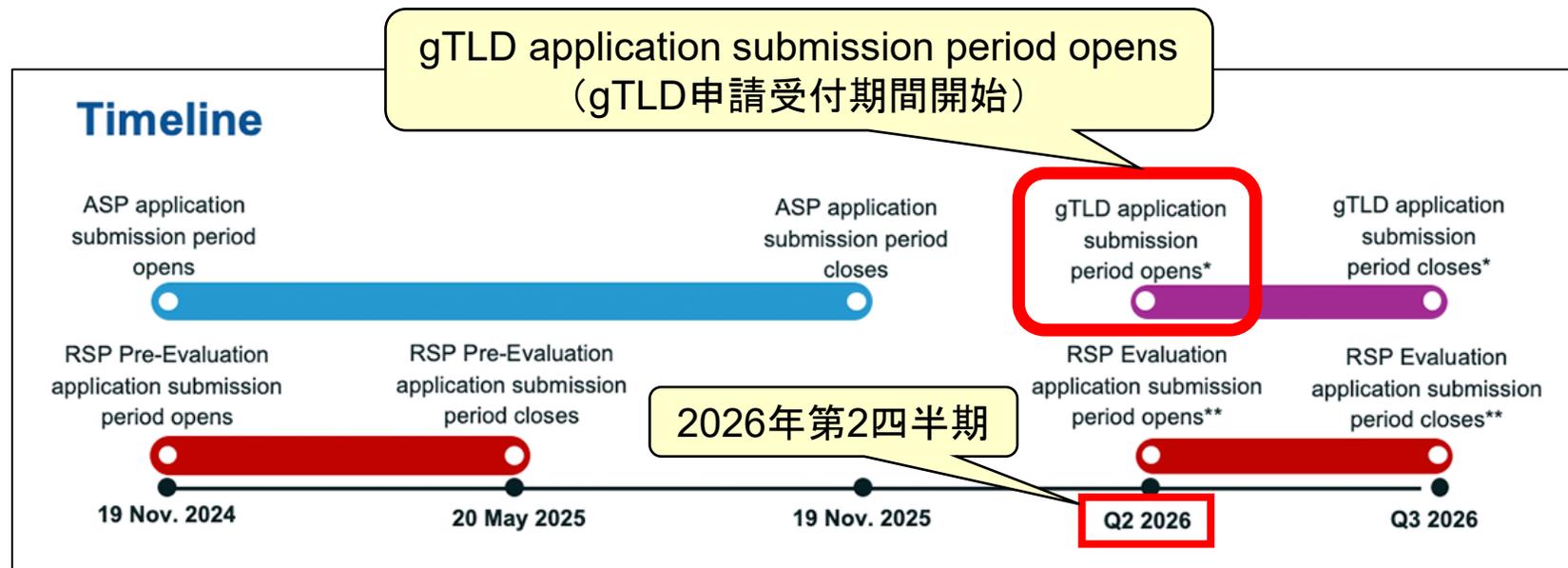
* GNSO: ICANNの支持組織の一つ。gTLD関連のポリシー案を策定し、ICANN理事会に勧告する。

募集開始時期の見通し

- ICANN事務局は、申請受付開始までに**3年かかる**と見込んでいることを2023年に発表
 - ステップ5の成果である申請者ガイドブック(AGB)の完成が**2025年5月**
 - AGB: Applicant Guidebook
gTLDのレジストリになることを希望する申請者向けに、プログラムの内容を詳細に記述した文書
2012年当時のAGB < <https://newgtlds.icann.org/en/applicants/agb> >
 - ステップ6の申請受付開始が**2026年4月**

募集開始時期の見通し

- ICANNの見通しに変更はなし
 - 2026年第2四半期に申請受付を開始予定とICANN事務局が発表



参照: ICANN: New gTLD Program: Next Round
 <<https://newgtldprogram.icann.org/en/application-rounds/round2>>

作業の進行状況

- 主に、申請者ガイドブック(AGB)と、レジストリサービスプロバイダー(RSP)評価プログラムに関する作業が進行中
 - 申請書ガイドブック(Applicant Guidebook)
 - gTLDのレジストリになることを希望する申請者向けに、プログラムの内容を具体的に記述した文書
 - 最終版は2025年12月公開予定(現在は[草案](#)が公開)
 - レジストリサービスプロバイダー(*)評価プログラム
 - 申請者への便宜を図るために創設された、RSPの技術を評価するためのプログラム(2025年5月に応募受付は終了)
 - 合格したRSPに管理を委託することで、申請時の技術評価が免除
 - 評価結果は2025年12月9日に発表予定

(*)レジストリサービスプロバイダー(Registry Service Provider)
レジストリと契約し、その運用実務を請け負う組織

その他トピックス

① gTLDに関するICANNコミュニティでの DNS Abuse対策議論の動向

DNS Abuseとは？

- 明確な範囲・統一見解は存在しない
 - DNSの利用やドメイン名の登録手続きに関連した悪用行為に含まれる範囲は大変広く、どこまでの行為がDNS Abuseに該当するのかについては、まだコミュニティでの統一した見解が示されるには至っていない。(*)
- ICANNは、DNS Abuseを、DNSに関連する限りにおけるマルウェア、ボットネット、フィッシング、ファーミング及びスパム(DNS Abuseの配信メカニズムとして機能する場合)の5つと定義

* JPNIC: インターネット用語1分解説～DNS Abuseとは～
<<https://www.nic.ad.jp/ja/basics/terms/dns-abuse.html>>

契約改定後も残るギャップと課題

- 2024年4月5日、DNS Abuseへの対応に関するgTLDレジストリ/レジストラの義務事項が、ICANNとの契約上、明文化された
 - DNS Abuseの通報者に対し、通報を受領した旨の通知を出す
 - 管理しているドメイン名がDNS Abuseに利用されている証拠がある場合、速やかに必要な対策を講じる
- しかし、対策が不十分とのコミュニティの声を受け、GNSO評議委員会は2025年8月に小チームを設置し、新たなポリシーの開発を検討中

* JPNIC: インターネット用語1分解説～DNS Abuseとは～
<<https://www.nic.ad.jp/ja/basics/terms/dns-abuse.html>>

検討中のポリシー内容

- 新たなポリシーの対象として検討されている主なテーマ
 1. 大量登録を可能とする無制限APIアクセスの制御強化
 2. すでに登録されたドメイン名と関連性のあるドメイン名の確認義務化
- 今後の予定
 - GNSO評議委員会がポリシー策定プロセス開始の可否を決定
 - タイムラインは現時点で未定

②.comの提供料金に関する動向

.comレジストリ契約と協力協定の更新

- 契約更新の状況
 - 2024年12月1日付でICANNはVerisignとの.comレジストリ契約を更新(契約期間:2030年までの6年間)
 - Verisignは、.comのレジストリ業務について、米国政府(NTIA)との協力協定(Cooperative Agreement)も締結
 - 2024年11月30日に原稿の内容のまま自動更新
- 協力協定に含まれる事項
 - 対象は.comレジストリ業務のみ(.netは対象外)
 - .com提供料金に関する制限も規定
 - 2018年の改定により、提供料金の上限を撤廃
 - 6年契約中、後半4年間に毎年7%以内の値上げが可能となった

NTIAの声明と.com提供料金への影響

- 2024年11月29日のNTIA声明のポイント
 - NTIAとVerisignは数カ月協議したが、.com卸価格について合意に至らず
 - NTIAには価格を強制する権限はない
 - DNSの安定性の観点から、協力協定を現行のまま継続することが公共の利益に合致
- 今後の.com提供料金
 - 2025年～2026年は値上げ不可
 - 2027年～2030年は毎年7%で値上げ可能

参照: National Telecommunications and Information Administration:
The .com Cooperative Agreement: Ensuring Internet Stability and Security
<<https://www.ntia.gov/blog/2024/com-cooperative-agreement-ensuring-internet-stability-and-security>>

jPRS